

議会だより

平成22年
11月5日発行

No.60

●発行／宮津市議会
●編集／議会情報化等特別委員会
TEL 0772-22-2121(代)
<http://www.city.miyazu.kyoto.jp>

● 一般質問	6
● 議員報酬の減額	5
● 意見書・請願	5
● 監査委員の選出	2
● 補正予算・条例改正等Q&A	2
● 9月定例会のうごき	2

学童保育
府中放課後クラブ



9月定例会のうぶき

改選後初めての9月定例会は、8月31日から9月30日までの31日間にわたり開催されました。

人事案件4件（監査委員、副市長の選任等）、

条例改正等5件（企業の立地促進及び産業の振興に関する条例等）、補正予算4件、決算認定1件（平成21年度水道事業会計）、その他4件が提案され、それぞれ質疑、各常任委員会での審査の結果、条例廃止1件（総合計画審議会設置条例）が継続審査となったものの、その他はいずれも原案どおり可決・同意・認定しました。

また、議員提案による「議員報酬10%減額」を全員賛成で可決しました。

請願は不採択、意見書2件については、いずれも可決しました。

一般質問は、2日間にわたり11人の議員が行いました。

また、平成21年度決算（一般会計など）、条例改正（水道事業給水条例）について、30日に質疑が行われ、閉会中に各常任委員会で審査を行います。

なお、今定例会の傍聴者は41人でした。



議会選出の監査委員
（平成22年8月31日付）
松浦 登美義

平成22年9月 補正予算・条例改正等審査Q&A

9月13日～14日、各常任委員会で平成22年度補正予算及び条例改正等の審査を行いました。その概要は次のとおりです。

意見：委員会が市に出した意見

経過意見：審査の過程で委員から出た意見

9月補正予算 補正総額 13億709万円

主な内容

一般会計

◆緊急経済・生活・雇用対策

緊急雇用の創出に **5,761万円**

◆財政再建の推進

(新)先行取得用地に係る借入金利子抑制のための貸付に **1億8,250万円**
(新)今後の公債費増高等に備えた繰上償還の実施に **5億5,540万円**

◆若者が定住できる環境づくり

(新)公共施設へのベビーシート等育児支援設備の設置、保育所等への遊具の整備等に **1,711万円**

◆産業ルネッサンス

竹のエネルギー利用へ向けた実証実験への支援に **4,950万円**
メタン発酵によるし尿等の処理に向けた研究に **1,440万円**
(新)地産地商(消)推進計画の策定に **80万円**

◆環境文化力の向上

(新)自立循環型経済社会を目指した環境フォーラムの開催に **200万円**

◆観光を基軸とした産業振興

世屋地域の空き家を利用した多目的交流施設整備の補助等に **432万円**
(新)乾燥調製施設整備の補助に **425万円**
(新)世屋・日ヶ谷地区の農道、用水路等の整備に **600万円**
捕獲鳥獣の埋設処理経費の支援等に **251万円**

◆環境保全と生活環境対策

(新)養老保育所、みずほ保育園へのソーラーライトの設置に **294万円**
(新)宮津幼稚園へのソーラーライトの設置に **441万円**

◆教育と人材育成

(新)地場産品を活かした食育活動の実施等に **50万円**

◆健康増進と福祉の推進

(新)高齢者の生きがいとなる特産品づくりの備品購入補助に **300万円**
亀ヶ丘保育園調理室等の改修補助等に **1,170万円**
子宮頸がんワクチン接種、
新型インフルエンザ予防接種への支援等に **1,158万円**

◆基盤の整備・活用

(新)宮津駅駐輪場の新設、カーポートの整備等に **5,200万円**
市道波路村線踏切の改良等に **9,500万円**
(新)世屋地区の道路、水路の整備に **520万円**
(新)宮津運動公園テニスコートの改修に **5,922万円**
(新)上世屋地区休憩所の整備に **4,675万円**
(新)全国消防操法大会の出場経費に **468万円**

◆協働と市役所改革

地域づくり推進のための地域会議への支援に **350万円**
(新)防犯パトロールの実施等に **15万円**
庁内電話のダイヤルインの導入に **73万円**

補正予算

一般会計

総務文教委員会

新産業起こしの推進に

49500万円

「宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会」が行う、放置竹林から伐採した竹をエネルギー等に活用する実証実験を支援し、地域資源活用型新産業創出による地域活性化につなげるもの。

Q 平成24年度までに国費も含め約4億円の投資がなされるが、平成25年度以降の見通しは？

A 農水省なども十分に協議をし、産業化できる見込みを持つて進めている。地域協議会による実証実験が終わる平成24年度のうち翌年度以降の見通しを立てる。

意見

竹という地域資源を活用し、新産業創出と竹林整備を行うという事業概念は評価できるものの、現時点では、具体的なビジョン・採算性・事業効果等について

不明瞭であると言わざるを得ない。何としても事業化を成功させるという不転の決意で取り組まれない。

宮津駅等の利便性向上に

52000万円

KTR宮津駅駐輪場の移転・増設とバス停上屋整備、傘松ケープル下バス停新設、天橋立駅等への情報板設置などにより利用者の利便性向上による公共交通全体の再生活性化を図るもの。

Q 事業のねらいは？

A 高齢化が進むことや若年層でも車を持たない人の増加が予想されることなどから鉄道・バス・汽船と様々な公共交通が相互に連携することで公共交通全体の再編を図っていくこととするものである。また、観光振興のために公共交通の将来に備えた整備をするものでもある。

経過意見

十分な現地調査をし、地元関係者の声を反映した計画にすべきである。



宮津駅駐輪場

市内電話のダイヤルインの導入に

73万円

老朽化した電話交換機との交換、光回線への変更により通話料削減、ダイヤルイン導入により利便性向上を図るもの。

経過意見

市民の利便性を十分に考慮して事業実施されたい。

新し尿処理施設の調査研究に

14400万円

市内で排出されるし尿、浄化槽汚泥、生ごみを原料とする液肥を精製する小型実験設備で新たなし尿処理施設整備のための実証実験を行うもの。

Q 液肥の安全性は？

A 先進事例等で安全性は保証されているが、実証実験の中で液肥の成分分析も行っていく。

Q 農業関係者の理解は得られているのか？

A 「メタン発酵施設導入調査委員会」には農業関係者も参加されており安全面等の説明の中で協議していただく。

土地開発公社の支援に

1億82500万円

暁星高校跡地を図書館等複合施設用地として先行取得した際の借り入れ金利子の負担軽減を図るため、丹後地区土地開発公社に無利子で短期貸し付けを行うもの。

Q 土地開発公社の運営には議会審査権が及ばず経営状況についての報告も不十分だが？

A 今後は状況変化等、議会への報告をしっかりと行う。

小学校における食育の推進に

500万円

栄養教諭が中核となり食に関する指導の充実、地域の特色を生かした献立作成に取り組みもの。

幼稚園へのソーラーライトの整備に

441万円

宮津幼稚園にエコ防犯ソーラーライト3基を設置するもの。



ソーラーライト

産業建設福祉委員会

子宮頸がん予防接種費用等の助成に

1158万円

増加傾向にある子宮頸がん予防のため、中学3年生女子81人に1回あたり1万円を助成する。接種は3回に分けて行う。自己負担は1回5千円。その他新型インフルエンザワクチンを低所得者に全額助成。また日本脳炎予防接種の積極的勧奨を再開。

高齢者マイスター活動の推進に 300万円

高齢者の生きがいづくりを目的とした団子作りの備品購入の補助を行うもの。

経過意見

この補助事業にあつては、事業計画等を出させ、全体像を把握し審査していくことが必要。



特産品製造等での活用が計画される空き店舗

緊急雇用の創出に 5761万円

Q 委託先の選考はどのように決めたのか。

A 府への申請期間が短く、公募での選考は困難。市のかかわりがある団体と調整、結果多くの事業が採択された。

経過意見

委託先の選考及び財源確保の努力は評価するが、選考等に疑義を抱かれぬよう対応を図りたい。また将来の雇用につながる対応を期待する。

地産地商(消)推進計画策定に 80万円

Q この計画の重点部分は何か。

A 地場の農水産物を地元観光業者等を使ってもらえる仕組み作りである。

公共施設の育児支援設備の設置等に 1711万円

Q 児童遊園の箇所数と利用状況は。

A 現在市内に55箇所。利用頻度の少ないところもある。

経過意見

集約して有効活用を図り、お金をかけなくても遊べる公園整備など少子高齢化に対応した効率的な管理・整備を図りたい。

決算

産業建設福祉委員会

平成21年度水道事業会計決算を認定

給水状況は、給水人口の減少や節水意識の浸透などから、年間有収水量は約209万立方メートルで、対前年比約4万立方メートルの減少。

経営状況について、事業収益は、2億9871万円で、給水収益の減少から、前年度に比べ約748万円の減少。事業費用は、2億9945万円で、施設の老朽化に伴う修繕料の増加や大手川改修に伴う水道施設の移設等による資産減耗費の増加などから、前年度に比べ約174万円増加している。また、給水1立方メートル当たりの供給単価(使用料)が137円89銭に対し、給水原価(費用)が143円33銭と約5円の赤字となり、平成12年以来の純損失74万円が生じた。

経過意見

厳しい経営環境の下、使用料

決算

値上げの論議もなされているが、長期的な視野に立った経営方針・整備計画等を示し、効率的で健全な経営に努力された。

条例改正等

総務文教委員会

宮津市企業の立地促進及び産業の振興に関する条例の一部改正

企業の立地・事業規模の拡充を促進し、雇用機会の拡大を図るもの。

Q 改正の主な内容は？

A 追加された事業所は老人福祉・介護事業と障害者福祉事業施設であり、投下固定資産の10%に相当する額を奨励金として支給する、地元新規従業員の雇用について雇用促進奨励金を支給するもの。(対象事業所：製造業、情報関連産業など)

過疎地域自立促進特別措置法における固定資産税の特例に関する条例の制定

Q 主な内容は？

A 2700万円以上の事業用資産を新設、増設した場合それに係る固定資産税を3年間全額免除するもの。対象となるのは、製造業、旅館業、情報通信事業。

Q 周知の方法は？

A 広報誌みやづへの掲載、新設・増設資産評価時や納税申告書送付時の連絡等により周知する。

経過意見

免除対象となる市民・事業所に浸透するよう工夫されたい。

宮津市過疎地域自立促進計画を定めることについて

過疎地域に指定されたことを踏まえ、過疎地域自立促進特別措置法に規定する市町村計画として定めるもの。



意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

議決結果 可決 議決状況 全員賛成

地域経済の活性化、社会保障の充実など地域のセーフティネットとしての地方自治体が果たす役割はますます重要となっており、特に雇用確保と結びつけた介護・福祉施策の充実、農林水産・商工業の振興、クリーンエネルギーの開発などの政策分野の充実・強化が求められていることから、2011年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて、次のとおり国に対策を求める。

- ① 今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2011年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。
- ② 地方財源の充実・強化を図るため、国・地方の税収配分を適正化するための税源移譲と格差是正のための地方交付税確保、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。
- ③ 2010年度予算において創設された「地域活性化・雇用等臨時特例費」などに相当する額を恒久的に地方財政計画・地方交付税措置に取り入れ、自治体が安心して地域経済の活性化対策に取り組める環境整備を行うこと。

意見書

野生鳥獣対策の充実・強化を求める意見書

議決結果 可決 議決状況 全員賛成

野生鳥獣による農作物の被害は、経済的な損失にとどまらず、農家の生産意欲を著しく減退させ、中山間地域等の集落維持にも大きく影響を及ぼす深刻な事態となっている。

平成20年2月には、国が直接採択する「鳥獣被害防止総合対策交付金」が、3箇年の特例措置として創設されたが、今年度（最終年度）の同交付金の予算額は削減され、京都府を含めた多くの府県において、交付内示額と要望額に大きく隔たりが生じる状況となっているため、地域の被害実態に応じた対策が的確に行えるよう、「鳥獣被害防止総合対策交付金」の増額措置を速やかに講じ、また、来年度以降の継続実施をはじめ、野生鳥獣対策の一層の充実・強化を図られるよう国に強く要望する。

請願

米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

請願者 宮津市農民組合 福井 愿 則

趣旨

この数年来、生産費を大幅に下回る米価が続き、生産者の努力は限界を超えており、価格を安定・回復させるために①年産にかかわらず40万トン程度の買い入れを緊急に行うこと。②米価の下落対策を直ちに講ずること。の2点の事項を盛り込んだ意見書を政府機関に提出してほしい。

請願に反対の意見

政府は戸別所得補償制度の本格実施に向けて、今年度から、戸別所得補償モデル対策を実施しており、一定の施策を講じてきている中で、その施策の推移をもう少し見極めたい。

議決の結果

不採択

議員報酬を改めて削減

平成18年度から「行政改革大綱2006」に基づき、財政再建と経営改革の取り組みが実施されており、市民サービスのカット、市民負担の増額、市職員給料の減額措置等が継続的に実施されています。

市議会としても危機的な財政状況を早急に改善するため、これまでに議員定数の削減、費用弁償の廃止、議員報酬の削減などを行ってきました。

こうした中で、財政再建をさらに推し進めるため、引き続き議員報酬を削減することにしました。

削減措置の内容

月額報酬の10%を減額

議長 月額 430,000円 → 387,000円
(月額43,000円減額)

副議長 月額 370,000円 → 333,000円
(月額37,000円減額)

議員 月額 350,000円 → 315,000円
(月額35,000円減額)

実施期間：平成22年9月1日～平成23年3月31日
(7カ月間) 399万円の削減

一 般 質 問

市政に対する質問・提言 ここが聞きたい!!

9月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

ローソン開店日が発表され、住民との調整は!

蒼風会 安 達 稔

答弁要旨 住民の意向が最大限尊重されての開店が必要

質問 ローソン側から、初めて開店日(10月2日予定)が発表されたが、近隣住民との調整合意に達していない。開店日が独り歩きしている事はいかがなものか。駐車場の出入口が3ヶ所用意されているが、北側の1ヶ所は夜間の車のライトが直接隣家に当ることから改善を求めたが、未だ調整合意に至っていない

答弁 10月2日の開店をスムーズに行う為には、ローソン側も近隣住民もお互いに一歩譲る事が大切である。私から提案したい。北側の出入口10mを5mに縮小し、背丈程の植樹等をする事により、住居にヘッドライトが直接当たらないので、市として、ローソン側に調整を願いたい。

を図ることとして公募決定したローソンの出店については、この度10月2日の開店を公表されたところである。()指摘の件は、現在ローソンにおいて対策を検討されているが、市としては地元住民の意向が最大限尊重されての開店であるべきと考えており、議員提案通り、ローソン側に配慮が十分されるよう申し入れをする。

「みやび屋」の営業について

質問 「高齢者ふれあい交流施設」として整備したが、「飲食業」が主目的になっているように思われる。当初目的である交流施設の目的はどうか。

トップクラスの高齢者福祉をめざした取組を!

市民連合クラブ 河 原 末 彦

答弁要旨 思いを共有し積極的に取組む

質問 高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めることは市民の願いでもある。介護保険者である市町村は、住民の受けたいサービスが受けられるよう介護サービスの供給体制を整えることが義務でもある。首長の高齢者福祉に対する取組姿勢によって、介護サービスに地域格差が生まれるのは必然であり、

「自立循環型経済構造転換による地域の経済力で、地域福祉に取り組む」と表明した市長の姿勢に、高齢者福祉に対する積極姿勢が感じられない。福祉も産業として位置付け「宮津出身の高齢者が故郷に帰って暮らしたい」「宮津に住んでよかった」「宮津市の高齢者福祉はトップクラスである」と誇れるような町づく

りを目指していただきたい。
答弁 サービスの提供は、市町村の意思もさることながら、事業者の参入意欲も大きく影響するもの。本市においては、特別養護老人ホームに100人余りの入所待機者があることや、居宅サービスでも希望とおりの回数、日数が利用できない状況があることも事実。こつした中で、「待機者ゼロ」を目指して有料老人ホームの誘致をはじめ、特別養護老人ホーム等のサービス基盤の整備に向けて取り組んでいる。介護サービス体制の充実、雇用の場づくりにもつながり、地域経済への波及効果も大きく

答弁 1階部分はワンデーショップによる「コミュニティカフェ」、2階部分はカルチャー教室として営業し、当初の目的に沿うよう取り組まれている。



ローソン出店地



デイサービスで楽しむ高齢者

期待できることから積極的に整備を促進していきたい。住民の費用負担に留意しつつ、トップクラスの高齢者福祉を目指すとの思いは共有したい。

その他の質問

・有害鳥獣対策について

阿蘇海と市内沿岸の漂着物対策は

公明党 松本 隆

答弁要旨 より実効性のある流入ゴミ対策を講じていく

質問 ①阿蘇海に流入する漂着ゴミはいっこうに減っていないのが現状である。阿蘇海環境づくり協働会議等で、京都府や他町と本格的な議論や対応がなされているのか。②昨年、海岸漂着物処理推進法が施行され必要事項が定められたが、海岸漂着物対策の対応措置がされているのか。

答弁 ①河川管理者では、阿蘇海に流入するゴミ対策は重要課題の一つとし、啓発チラシの配布等で河川流域住民の環境改善への意識啓発を行っている。今後は、関係機関と住民が思いを一つにして、より実効性のある対策を講じていく必要がある。②京都府において法に基づく地域計画が策定されることになるが、この中で京都府と市の役割分担や、地域ボランティアとの連携など推進体制の構築等を位置づけ、その対策に取り込む。

京都縦貫からの車の流れについて

質問 ①行楽シーズン等、ICから新浜松原線にかけ、車の流れが悪い。京口と宮高前の信号機を感知式で

きないか。②新浜松原線の道路幅員により、新浜、魚屋通りの横断が困難であるが、今一度、調査をしてはどうか。③与謝天橋立ICに文珠天橋立を指示する誘導看板を設置してはどうか。

答弁 ①②国道左折以降の信号が渋滞発生の大きな要因であり、現状では両方とも困難。来春の宮津野田川道路の開通後の状況を見て調整していきたい。③商工会議所を中心に案内標識のあり方の検討が進められている。



阿蘇海に流入するゴミ

その他の質問

・市営住宅と定住促進について

緊急時、辛皮の京縦貫進入路の利用は可能か

日本共産党 長林 三代

答弁要旨 災害等での緊急時にその都度協議

質問 平成16年の台風23号時や昨年夏にも山崩れで、辛皮・寺屋敷方面は通行不能となった。緊急時には高速度道路使用の対応をすると聞いているが、緊急時とは。また、誰が緊急と判断するのか問う。

答弁 災害時で、大江山を通過して辛皮地区へ向えない時、火災や救急等人命・財産に関わる場合を基本に、その都度協議し臨機の対応をしている。

質問 台風23号時、舞鶴は消防や警察の対応が早かったが、辛皮地区への対応は非常に遅かったと聞いているが。

答弁 10月20～24日まで孤立状態であった中で、京縦貫の利用に至った。今後、孤立の危険のあるところなので心して対応していく。

公衆トイレの清掃・管理の徹底を

質問 市長は観光振興で外貨を稼ぐと言ったが、公衆トイレが汚れていては実現は難しい。また、ガラスの破損やペーパーがなかったり、身障用ドアが壊れていた。清潔で綺麗なトイレを保つための計画は。

答弁 今後、委託内容の見直し等、管理の在り方を検討していく。島崎公園の身障トイレのドアは修繕対応をする。

質問 倉吉市は、市の理念として公衆トイレを毎日清掃するぞうだ。気持ちのよいさわやかなトイレ、観光産業の目玉では。

答弁 地域のくらしをみるのが観光の語源。「トイレの宮津」と言われるくらいに考えていきたい。



辛皮地区に通じる工所用進入路

その他の質問

・集落にあった獣害対策とリーダーの育成を

農業対策／栗田の漁港基盤改修／鮮魚直販所について

宮津新生会 谷口喜弘

答弁要旨 国・府補助事業の採択に向け要望する

質問 将来的な農業後継者・担い手対策について聞く。

答弁 農業機械・施設の共同利用化や農作業を受託する組織の立上げや、集落営農組織が行うトラクター、コンバイン、乾燥調製施設等の整備に対して、育成に力点を置き支援してきた。経営基盤強化を図り、地域農業の持続的な営農維持が図れるよう努める。

質問 有害鳥獣の処分問題への取り組みは？

答弁 農家集落、猟友会、行政が一体となって協働で取組む。将来的に広域的な焼却処理施設の整備が必要で京都府へ強く要望。

質問 災害に強い漁港をつくるなど栗田地区の漁港改修整備について伺いたい。

答弁 島陰及び田井漁港の防波堤の新設や田井及び中津漁港の船揚場の改修は国・府の補助事業の採択が不可欠。優先順位を見極め、財政状況も踏まえ年次計画的にその整備に努める。

質問 栗田漁業生産組合小田事業所の荷捌き所で行われる鮮魚浜売り直

販は、多くの方が訪れ、混雑の中で選別・出荷作業となっているが、鮮魚販売所の整備について伺いたい。

答弁 栗田漁業生産組合の鮮魚浜売り直販所整備にかかる支援については、平成23年度の国・府の補助事業の採択に向けて要望している。



鮮魚浜売り直販

その他の質問

・小寺の市道伊根川線の改修について

雇用の認識と宮津市の衰退の原因は

無会派 坂根 栄 六

答弁要旨 負の連鎖の繰り返し、活力回復の戦略が必要

雇用の認識について

質問 市民アンケートで雇用に対する要望が上位を占めているように、若者定住においても雇用が重要である。2年前、出前市長室にて「雇用は十分足りている。宮津になければ、高速もあるので綾部や舞鶴や福知山に行けばいい。」と発言、雇用に対する認識と企業誘致の経過を伺う。

答弁 雇用環境は厳しい。宮津管内での有効求人倍率は18年度平均0.92、21年度0.50と大幅に悪化。企業誘致については、これまで水産陸上養殖場と介護付有料老人ホームを交渉。水産陸上養殖場は経営方針の転換により断念、介護付有料老人ホームは工事中である。引き続き、産業おこし、企業の立地、雇用の拡大に努める。

宮津市の衰退の原因は

質問 この地で育った子供たちは高校卒業後、大半が大学や専門学校へ行き、一度出れば戻ってこない、帰りたくても働く場がないので帰ってこれない。そして学費と生活費を数百万円以上の多額の財産を都会へ

と出す仕組みになっている。「人材の流出」が問題。「大学の学年移転」を提案すると共に、宮津市の衰退の原因と方向性について伺う。

答弁 雇用口の減少・起業チャンスの縮小、若年層の流出、生産年齢人口の減少などのマイナス要因が相互に関連、負の連鎖を繰り返している。今後は、人口の流出に歯止めをかけることと、地域の経済活力を高めることを大きな地域戦略としていく。



その他の質問

・空き家対策、タケ丘団地、つつじが丘団地、市民総踊り大会、鳥獣被害

市民球場に電光掲示板の設置を

蒼風会 松原 護

答弁要旨 計画的な改修に努める

質問 来年度宮津市民球場で開催される全国高校野球選手権大会京都府大会開催までにスコアボードの電光掲示板を進めるとともに、宮津運動公園改修計画を教えてください。

答弁 電光掲示板によるスコアボード設置については、今日まで掲示板面の改修も実施し、維持管理に努めてきた。今では一般的になっていく電光掲示板は必要と考えているが、相当の事業費を要するため、実施に踏み切れないのが現状。宮津運動公園については、今後、計画的な改修に努めていきたい。

有害鳥獣対策について

質問 鳥獣被害対策として国・府・市が実施する支援策は、どのようなものがあるか。日置で取り組まれた緩衝地帯（バッファゾーン）の効果は。サルの駆除対策の現状とクマ捕獲時の対応はどのようなものか。

答弁 イノシシの捕獲檻の設置や電気柵等の購入に支援を行っている。バッファゾーンについては一定の効果が見受けられる。サルは銃器・花火による一斉追い払いなど。クマを

捕獲した場合、一度目は放獣し、二度目については捕殺することとされている。

ストレッチ体操の普及について

質問 健康維持のため、各地区で老若男女を対象にストレッチ体操の指導員による講習会を開催されたい。

答弁 各地区において、ストレッチ体操の実施について、指導・講習等の要請があれば広く市民に普及するよう対応していきたい。



宮津市民球場のスコアボード

宮津再生について

公明党 松浦 登美義

答弁要旨 自立循環型経済社会づくりを進める

質問 宮津市は、いよいよこれから本領発揮。台風23号からの復興、財政再建の一定の道筋をつけ、次のステップに立てることができた。もとも持っている宮津の魅力を引き、地域力を発揮して何処にも負けない世界一のまちづくりを目指し船出の時である。そのために、開かれた議会の推進による「議会改革」。経済の地域循環の推進による「地域の活性化」。「観光スタイルを拡げ」海上交通や路線バス、KTRの連携強化による「観光の魅力アップ」地域特性にあつた田舎暮らしの推進による「定住対策」など。宮津のありのままの自然や豊富な資源を活かしたまちづくりを原点到進める事であると考えている。本市の再生について市長の考えを伺う。

答弁 2期目にあたり、市民の皆さんと一緒に、これまでの発展の種を花咲かせていかなければならないと強く思っている。引き続き、財政の健全化を進め、し尿処理施設、ごみ処理施設、学校耐震化、急激な高齢化への介護需要への対応など山積する課題にしっかりとあたっていく

かなければならない。現在、みやびビジョンの策定に向けて、市民会議や地域と議論を深めているところであるが、本市の置かれているマイナスイノベーションの構造を断ち切るためにも、人口流出に歯止めをかけること、経済力を高めることの2つを今後の大きな目標に掲げ、その道筋として自立循環型経済社会づくりを押し進めていきたい。



再生に取り組む宮津市

その他の質問

- ・観光と連動した地域循環を
- ・観光スタイルの拡充について
- ・田舎暮らしの推進制度創設を

タイムリミットを切った 清掃工場移転問題は？

日本共産党 宇都宮 和子

答弁要旨 適切と思われる案を年内にまとめ上げたい

質問 ごみ処理広域化を巡って、波路自治会と大きな問題に発展した清掃工場移転問題は、その後の波路自治会の協力のもと、平成26年3月までの延長が認められている。しかしその設置期限が残り4年となり、新しい場所を探して建設を考えるには、すでにタイムリミットを切ってしまった。そうなるも既存の施設を使うこととなる。この間、議会には何も説明がない。この問題をどう考えているのか。また波路自治会とはどのような話し合いがされているのか。

較し適切な案を年内にまとめ上げたい。

国保の滞納と重い負担の解決は

質問 国保は住民負担が大変重い税だ。それに呼応するように、その滞納額も年々増え続けている。こうなった原因は何か。またどのように解決されるのか。

答弁 国保は、他の医療保険に属さない人すべての方が加入する保険であることから、高齢化や雇用の落ち込みなどが滞納増の原因と考える。解決に向けては、制度の統合や国保の広域対応等が課題。

答弁 現在、丹後2市2町の共同で「丹後地区ごみ広域処理研究会」を立ち上げ、府、有識者のアドバイスを受けながら、新施設の整備に向けて調査研究を行っている。公設による従来型焼却方式と、民間活力を生かした処理方法についても研究中。いろいろな手法を調査比



波路の清掃工場

長期財政計画と予算編成との 整合性について

宮津新生会 徳 本良孝

答弁要旨 財政再建と元気な宮津づくりの両輪で

質問 「第5次宮津市総合計画」などに裏打ちされた、将来のあるべき「宮津市」を実現するための施策を担保する『長期財政計画』が必要と考えるが現在宮津市に財政計画と呼べるものがあるのか尋ねる。私たち議員は当初予算や補正予算等の審査にあたり、先の財政計画と当該予算案との整合性も重大な基準と考えているし、総合計画等に根拠を置きながら、また標準財政規模や類似団体との客観的な比較や実質公債費比率及び将来負担比率も踏まえながら作成された『長期財政計画』により、市民生活向上のための施策間や年度間における施策のプライオリティー（優先順位）を判断するので、予算編成時の施策の選択の方法はどのようなものか尋ねる。

る指針としてきた。その中で、地方債残高を抑制するために「起債総枠管理の計画」や実質公債費比率を抑制、管理する「公債費負担適正化計画」により財政の健全化を進めてきた。予算編成にあたっては、「市民ニーズへの的確な対応」「緊急性の度合い」「将来にわたる効果の波及」「将来の財政負担」等を考慮し「選択と集中」を持つて行うことが基本である。

答弁 予算編成時に重視してきたのは、厳しい財政状況からの脱却へ向けた「財政再建」と「元気な宮津づくり」である。『長期の財政計画』については、平成17年度時点で5年間60億円の財源不足の見込みとなったことから「行政改革大綱2006」を策定し、この間の財政運営におけ



財政健全化を進める宮津市役所

井上市長のマニフェストは？

蒼風会 小田 彰彦

答弁要旨 「有権者（市民）との誓約」と基本認識

質問

去る6月の市長選で2期目を迎えられたところであるが、立候補に先立ち60項目のマニフェストを発表された。多岐にわたり具体的な提案もあれば抽象的なものもあるようだが、すべては有権者との約束（公約）と見なしてもよいか？マニフェストは4つの大きな項目に分かれているが、例えばそれぞれに1項目ずつ「①中学校までの学校給食の充実」「②2000円バスの導入」「③滞在型観光の振興」「④市職員の養成」について実施の時期や予算、数値目標など、判りやすく説明してほしい。またマニフェストは市民との公約には違いないが、市長と議会が存在する「二元代表制」のもとで公約と政策の決定はどのように議論されるのか？



路線バス

給食の充実については学校毎に「運搬方式」「自校方式」「センター方式」など検討中。「②2000円バス」は遅くとも平成24年4月にはスタートしたい。「③滞在型観光の振興」は実現のための各種の戦略会議を設置する。「④市職員の養成」はもっと職員が市民の中に入るよう指導したい。市長と議会は政策を大いに議論し、双方で努力することが大事だ。

12月定例会の予定

(会期 11月29日～12月22日)

11月24日	請願・陳情等締切（午後5時まで）
25日	議会運営委員会
29日	本会議（決算採決・提案理由説明）
12月6日	本会議（一般質問）
7日	本会議（一般質問）
9日	本会議（質疑～委員会付託）
10日	常任委員会
13日	常任委員会
20日	議会運営委員会
22日	本会議（委員長報告～採決）



※開議時刻 10:00

この日程は予定であり、変更となる場合があります。

- 一般質問の質問者及び質問事項等は、一般質問日の約1週間前に市議会ホームページで確認できます。

インターネット検索

宮津市議会

検索

クリック

行政視察報告会のお知らせ

各常任委員会がそれぞれ実施した行政視察の成果を報告します。ぜひ傍聴にお越しください。

日時	平成22年12月22日(水) 本会議終了後
場所	宮津市役所 議場
内容	総務文教委員会、産業建設福祉委員会の視察報告

表紙写真を募集します！

市議会では、議会だよりを年4回(5月、8月、11月、2月)発行しています。本紙の表紙に掲載する写真を募集します。

- 募集内容 地域の取り組みや行事など、地域の魅力を紹介できる写真
- 応募規定 応募者が撮影し、被写体の承諾を得たもの。
- 規格など 現像写真またはデジタルデータ
- 紙面への掲載 写真は白黒で、タイトルと応募者の氏名を掲載します。
- 応募方法 ①タイトル②住所③氏名④電話番号を明記の上、議会事務局までご応募ください。
- 選考 議会情報化等特別委員会で行います。
- 注意事項 応募写真は原則返却しません。
- 応募・問合せ先 〒626-8501(住所記入不要) 宮津市議会事務局
TEL. 0772-22-2121(内線252)
e-mail:gikai@city.miyazu.kyoto.jp

あ が き

収穫の秋、農家の方にとって一年で最も喜びを感じる季節になりました。しかし、市内各地でイノシシを始め、サル、シカ、そしてクマによる農作物の被害は凄まじいものがあります。9月定例会では、多くの議員が有害鳥獣対策の質問に立ちました。

また、市議会としても野生鳥獣対策の充実強化を求める意見書を国に提出します。

今、安心して生活ができる環境整備を図っていくことが急務であります。

この議会だよりが皆様に届くころには、山々の木々が色鮮やかに変化し、自然の素晴らしさを実感できますように…。